

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業) (案)

令和 8年 1月__日

協議会名: 岩内町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ニセコバス株式会社	<p>【系統名】 いわない循環バスノッタライン 【運行区間】岩内町内 【運行便数】1日8便(日曜日、12月31日、1月2日、3日は6便、1月1日は全便運休) 【運賃】大人 200円、小学生以下・障がい者手帳(知的・身体・精神)保持者及び介助者1名無料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の停留所配置のバランスや各停留所の乗降人数の需要傾向の分析、情報把握に努めた。 ・利用者からの意見、要望を収集し利便性向上、利用者増に資する取り組みを検討した。 	A	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p> <p>今年度の年間利用者数は39,121人、収支率は21.9%。年間利用者数は増加したが、どちらも目標を下回る結果となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通院や買い物などの生活面での利便性を確保するとともに、商店街などと連携し地域の活性化に資する地域公共交通を確保する。また、広報活動を継続し安心して利用できる公共交通の実現を目指す。 ・住民サービス及び利便性の向上を図るため、キャッシュレス決済の利用拡大を図る。 ・令和8年4月に開校する義務教育学校児童生徒の通学利用について検討する。
株式会社キングハイヤー	<p>【系統名】 円山地域乗合タクシー 【運行区間】岩内町内 【運行便数】1日3便(火・木曜日、12月31日～1月3日は全便運休) 【運賃】大人 200円、小学生以下・障がい者手帳(知的・身体・精神)保持者及び介助者1名無料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の停留所配置のバランスや各停留所の乗降人数の需要傾向の分析、情報把握に努めた。 ・利用者からの意見、要望を収集し利便性向上、利用者増に資する取り組みを検討した。 ・デマンド運行実証事業の検討、準備作業を進めた。 	A	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p> <p>今年度の年間利用者数は4,626人、収支率は12.4%。年間利用者数は増加したが、どちらも目標を下回る結果となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通院や買い物などの生活面での利便性を確保するとともに、円山地域の事業者などと連携を検討し、地域の活性化に資する地域公共交通を確保する。また、広報活動を継続し安心して利用できる公共交通の実現を目指す。 ・現状のダイヤについて、利用者及び円山地域の事業者からの意見を聞き取りながら、最適な運行ダイヤのあり方について検討を進める。 ・デマンド実証事業を実施し、利用者ニーズや運行方法等について幅広く情報収集を図り検討を進める。 ・住民サービス及び利便性の向上を図るため、キャッシュレス決済の利用拡大を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について（案）

令和 8年 1月__日

協議会名：	岩内町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>岩内町には鉄道がなく、町外への公共交通手段としては、主として路線バスがその役割を担っている。町の中心部に位置する岩内バスタークニナルを起終点とし、札幌市、小樽市、寿都町、神恵内村、俱知安町まで運行しており、幹線交通については一定の交通サービスを充足しているが、町内移動や幹線交通に接続するためのフィーダー交通が不足している状況にある。</p> <p>このため、平成28年10月より町内を循環する「いわない循環バスノットライン」の運行を開始し、高齢者や障がい者等の交通弱者の通院や買い物などの町内移動、幹線交通に接続するフィーダー機能の役割を担っている。</p> <p>また、いわない循環バスノットラインが循環していない地域や、北海道中央バス(株)運行していた「岩内円山線」の廃止によって拡大した交通空白地域が存在していたことから、令和2年6月より「岩内町円山地域乗合タクシー」の実証運行を開始し、有用性があると判断されたことから、令和5年6月より本格運行を開始した。</p> <p>住民ニーズに合った交通サービスの提供と地域公共交通の利用拡大を行うことで、住民がより安全で安心な暮らしを実現するための持続可能な地域公共交通の確保・維持・改善が今後も必要である。</p>